

1. 主題名 長所を伸ばす(資料名「明の長所」) A個性の伸長

単元名 「119期ハッピープロジェクト～自分発見!～」

2. 主題と単元について

本主題は、高学年のA個性の伸長より「自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばすこと。」という価値をねらっている。個性は、個人特有の特徴や性格であり、特徴は、他者と比較して特に自分の目立つ点と捉えて、長所だけではなく短所も含むものである。自分の特徴をよい方向へ伸ばしていけばそれは長所となるが、自分自身では気づきにくいので、まわりの人との関わりによって実感することが多い。苦手なこととして改善を図らなければならないと短所となるが、そのことを真摯に受け止め、望ましい方向へ改めて自分のよさを生かすことで、それを伸ばしていくことができる。自分の特徴を知るためには、その両面を見出すことが必要になってくる。

5年生の子どもたちは、自分自身の長所や短所の両面が見えてくる段階にあるため、自己の生き方を見つめ、自分の特徴を多面的・多角的に捉えることが重要である。一方、未来そうぞう科のこれまでの活動から、「人間の思い通りにいかない自然」や「自分の思い通りにいかない集団」に触れる中で、「自分が考えること」が必ずしも「他が考えること」や「自然の流れ」とは同じではないことを実感した。それに加えて、「自分が考えること」と「自分が行うこと」の間にもずれがあることも子どもたちは実感しており、今後も「自分のことを必ずしも自分自身が分かっていない」ことを感じる場面があるだろう。

そこで、道徳科で自分自身について考える学習に取り組もうと考えた。未来そうぞう科では、「自分が知らなかった自分」について、もっと深く自分のことを考え、成長させていこうとすることを単元の目標として、「自分発見!」の取り組みを始めた。まず、自分を客観的に見つめるために「自己紹介カード」をかいたが、これまでの「自己紹介」の視点が周囲の人にとって比較的把握しやすいものにとどまっていることが多いことがわかった。「自己紹介」の意義を考え、その視点を増やすためには、「他者理解」として親しい友だち同士で「〇〇さんブック」のような形でまとめ、紹介し合う活動が必要であると考えた。この活動では、もっと知りたい友だちのことについて、「優しい」「〇〇が得意」などと視点は増えていくと思われるが、表面的な理解にとどまり、人格的な部分までは迫っていけないだろう。これまでの活動で、本当にその人のことが紹介できたのかと問えば、まだ見つけていない特徴もあるはずだと感じるが、出尽くしている自己紹介の内容以上のことは見つけられないため、どのように考えていけばいいのか悩むはずである。そこで、道徳の時間で本題材を扱い、友だちの長所について多面的・多角的に考えたり、長所を伸ばすことの大切さに気づいたりする心情を育めるようにしていきたい。

3. 活動構成の仮説

未来そうぞう科の中で起こり得る問題を取り上げることで、その問題を自分事として捉えて考え、道徳的価値を理解し、自分なりに発展させていくことや課題を培うことができ、それが未来そうぞう科での活動につながる。つまり、未来そうぞう科の活動で起こり得ることを道徳科で考える授業構成にすることで、その後の未来そうぞう科の活動へつながる道徳的実践意欲をより高め、未来そうぞう科の3つの実践力の基盤となる態度を育てていくことができる。

4. 指導計画（本時の主題と他の主題や未来そうぞう科との関わり）

主題「資料」内容項目 指導者の役割	児童の意識の変化	未来そうぞう科		
		学習活動と問題意識	学習での子どもの意識	指導者の役割
<p>工夫をこらして 「かがやく夜を世界に」 A真理の探究</p> <ul style="list-style-type: none"> 強い目的意識をもって実験を繰り返すエジソンの姿から、自分たちの生活について、問題意識をもって見直したり工夫したりして、生活をよりよくしようとする意欲をもてるようにする。 	<p>・今の生活では、困っていることはない。今の生活で満足している。 ・生活の中で工夫した方がよいと思うことはあまりない。</p> <p>↓</p> <p>・少しの工夫でも便利になる。 ・エジソンのように、いろいろな方法を試すうちにうまくいんだな。 ・自分の生活を見直し、学校生活や学習に対する姿勢を見直そう。 ・自分はどんなことを工夫すればいいのかな。</p>	<p>1. 「自己紹介カード」を書く。【1時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自分」について人に紹介したいことを書く。 <p>2. 自己紹介できることを増やすにはどうすればよいだろうか。【3時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自己紹介」の視点を増やす。 ・たくさんの視点で「自己紹介」について考える。 「自己紹介」を考える中で、「自分発見」につなげていく。 <p>3. 「〇〇さん紹介」の活動をしよう。【4時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> もっと知りたい友だちのことについて、「〇〇さんブック」を作成する。 	<p>自分の好きなことなどを紹介すればよいかな。</p> <p>もっと好きなことや得意なことを増やせばいいかな。</p> <p>自分にもわからない自分の特徴があるのかな。</p> <p>明るい性格だとよく言われるので、それがいいところかな。</p> <p>自己紹介をするというのは難しいな。</p> <p>「知らなかった自分」を見つけるにはどのようにすればいいかな。</p> <p>友だちの良いところを見つけない。</p> <p>〇〇さんは〜〜では何が好きですか。</p> <p>〇〇さんの〜〜の一面を知ることができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「自己紹介カード」を書く中で、「自分の成長」について考えることができるようにする。 何のための「自己紹介」なのか、「自己紹介」をするとどんなメリットがあるのかについて考えることができるようにする。 友だちの一面がたくさん見つかるように質問し、「〇〇さんブック」を作成するようにする。
<p>長所を伸ばす「明の長所」 A個性の伸長（本時）</p> <ul style="list-style-type: none"> 主人公の心情の変化を考えるを通して、友だちの特徴を知り、それを伸ばしていこうとする意欲を高められるようにする。 	<p>・友だちの悪いところではなく、友だちの長所をもっと見つけたい。 ・自分の知らない特徴はあるのかな。</p> <p>↓</p> <p>・これまでに見つけられていない友だちの長所があるはずだ。 ・友だちの長所をもっと見つけて、みんなに知ってほしいな。そして、その人にもっと伸ばしてほしいな。</p>	<p>4. 自己紹介できることをもっと増やすにはどうすればよいだろうか。【3時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己紹介の視点をさらに増やす。 ・一回目の視点をふまえて「自分発見」について考える。 これまでの「自分発見」をして良かったことなどを考える。 <p>5. もう一度「〇〇さん紹介」の活動をしよう【4時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一回目の活動をふまえて、親しい友だちと、「〇〇さん紹介」の内容を考えて、発表する。 	<p>これまでの経験や、苦手なことなど色々なことが考えられるね。</p> <p>前の活動では思いつかなかった視点で考えるといいな。</p> <p>友だちの良いところについて紹介できることをもっと見つけたいな。</p> <p>〇〇ということも良いところだと言えるのかもしれないね。</p> <p>やはり相手のことを知ることがその人の「〇〇さん紹介」につながるね。</p> <p>本人が気づいていない「自己紹介の内容」がたくさんあるので、気づいてほしいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今までネガティブに捉えてきたことも、その人の「もちあじ」だと認識できるようにする。 改善点を意識して、その人の「もちあじ」を見つけることができるようにする。
<p>終わりなき挑戦 「iPS細胞の向こうに」 A希望と勇気、努力と強い意志</p> <ul style="list-style-type: none"> 困難に負けずに研究を続け、iPS細胞作りを成功させた話から、目標に向けてくじけずに希望と勇気をもって努力していこうとする意欲を高められるようにする。 	<p>・自分の夢は〇〇だ。 ・夢や希望をかなえたい。 ・うまくいかないときは、すぐにあきらめてしまう。</p> <p>↓</p> <p>・どんなことでもあきらめないで生きていきたい。 ・自分のよいところを伸ばして、目標が達成できるように挑戦し続けたい。 ・自分の夢について、もっと考えたい。</p>	<p>6. もう一度「自己紹介カード」を書こう。【1時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの活動をふまえてもう一度「自己紹介カード」を書く。 <p>7. 一回目の「自己紹介カード」と比較し、どんな「自分発見」をできたかについて考える。【1時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの活動をふまえてもう一度「自己紹介カード」を書く。 	<p>前回のときには、見つけられなかった友だちの良いところをたくさん見つけられたね。</p> <p>一回目のときには、見つけられなかった「自己紹介の内容」も書いて、「自己紹介カード」を完成させよう。</p> <p>自分が知らなかった自分を見つけれたら気がするね。</p> <p>これから「自分が知らない自分」が見つかるかもしれないね。</p> <p>自分の長所をもっと伸ばしていきたいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一回目の「自己紹介カード」に見られなかった記述が二回目の「自己紹介カード」に見られたことが「自分自身の成長」であり「自己発見」となるということに気付くことができるようにする。